
第35回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会 確認事項 《チーム用》

文責：TD 瀧上正志

◆ベンチ

1. 「救護員」について
 - ・救護員は4名ベンチに入ることができます。試合毎にエントリーフォームに氏名を記載し、IDカードを着用すること。
 - ・成人であること。
 - ・救護員は試合毎に変更しても構わない。
2. チームベンチに入ることができるのは、代表者・監督・コーチ・救護員とする。ただし、メンバーに入れなかった同種別の団員がベンチに入る場合は、ユニフォーム以外のそろいのシャツを着ること。

◆事前練習

- ・第1試合のチームは、試合開始30分前から試合開始10分前まで練習を認めます。第2試合以降のチームは、試合開始10分前にコートが空いていれば、練習を認めます。
- ただし、ゴールは使えません。

◆メンバーチェック等

1. エントリーフォームは、各コートのジャッジテントに試合開始20分前に提出。
*チームユニフォームが重ならないよう、友好的な解決をお願いします！
2. メンバーチェックは次試合テントにて試合開始10分前に実施。各チームの監督は、メンバーチェックの前に、下記の点を確認すること。
 - ・選手の健康状況（明らかに熱中症・・・？試合には参加させられません）
 - ・ヘアピン、アクセサリーや金属の装着不可
 - ・スティックの破損はありませんか？
*穴・破片が飛び散る可能性があるものは使用を控えてもらいます！
 - ・GKのアンダーパットの装備（お子さんの将来を考え奨励しています）
 - ・熱中症等で人数がそろわない場合、早めにTDへ報告すること。
3. PC時に使用する「マスク」「グローブ」も、このタイミングでTOの確認を受ける。

◆試合開始時・終了時のセレモニー

《開始時》試合開始1分前に

「ジャッジ席前整列」～「トス」～「ジャッジあいさつ」～「コートへ散る」

《終了時》「センターであいさつ」～「握手」～「わかれ」

※ジャッジテント・相手チームあいさつは行なわない。

◆競技中

1. 試合時間は、前後半各10分で5分の休憩。休憩4分でホーン、5分で後半開始。
(4分間はしっかりテントで休憩を取ること／ホーンが鳴ったら速やかに準備を)
2. PC時のフェイスマスクは、ゲームが途切れた時にゴール裏に置くよう指導を。
3. フリーヒット時はボールをしっかり止める。セルフで始める時はポイントの確認・ボール

を止める動作をはっきり行う。(特に破線部分の)ドラックによるスタート(進入)は認めない。ただし、スクープを直接上げることは認められるようになった。

4. リバースプレーについては、危険か否かによる判断でジャッジする。(安全第一)

なお、ふりかぶつてのリバースシュートは禁止とする。

5. 6人制ルールの確認 (スポ少・中学生・6人制ルール)

○サークル内での攻撃側の反則はビハインドFHの要領と同様。

○PCのフライングは、ルール変更なし。

○退場(黄色カード)は3分以上。(時間の計測アンパイア)

○グリーンカードは警告のみ(退場はなし)

○給水タイムの採用もなし。

○試合開始は、今年度よりセンターパスにより開始。

○オウンゴールは適用しない。

◆ベンチワーク

*ベンチでの指導は、「監督」または「コーチ」のどちらか一人とする。

*アンパイアに暴言を吐いたり、セルフ判定によりゲームを混乱させる行為などは厳しく対処する。TOからカードにより、ベンチから退場もあり得る。

特に指導の必要な監督には、TDおよびスポーツ少年団部会で対応する。

◆PS戦(予選リーグの順位決定)

*予選リーグの順位をPSで決めなければならない時は、Bコートで第14試合目(15:30~の試合)に実施する。なお、詳細については、放送により連絡する。

PS戦の可能性のあるチームについては、結果が確定するまで会場から帰らないこと。

・・・PS戦時に残っていないチームは「不戦敗」となる。

◆選手交代の手順

*今大会では、選手交代用のラインを設ける。

○監督は、交代選手に何番の誰と交代か伝える。

○交代選手は、交代番号表とスティックを持つ。

○ジャッジテント前の交代ラインに立つ。

○交代選手の名前を呼ぶ。交代番号表を上げる。

○グラウンド内選手が交代ラインに来て、番号表をわたし、交代(落ち着いて、交代すること。)フライングの交代は認めない。

○なかなか交代できない場合など、交代が滞っている際には、監督が交代ラインまで出向き交代を援助することができる。(片ひざをついて交代選手を呼ぶ。コーチングは不可。)

○PC中は、選手交代できない。

◆負傷・事故発生時の対応について

*負傷により手当要請をした場合、2分間はベンチで静養する。

(GKは除く)(時間管理は各ベンチ)(11人制はタンカを要求した時///だが)

*顔・頭部・心臓付近の負傷については、本人の意思に関係なく、安全確認のため一旦ベンチに下げること。

*GKが負傷した場合

・GKなしのゲームは認めない。

・控えのGKがいない場合、フィールドプレイヤーが防具を着装すること。

*救護所

・救護所は会場図No.5に設置。熱中症の疑いがある場合は、実施本部内救護所に冷房設備を完備しておりますので、ご利用ください。

・看護師と保健師が常駐する。

・また、大きな事故があった場合は119番通報により救急車で搬送する。

*負傷・事故報告書(ジャッジ席に配備)

救急車で搬送された場合・熱中症等で倒れるなど「負傷事故報告」の提出要の場合

1. TOが監督に負傷事故報告書を渡す

2. 医師等の診断

3. 事故報告・経過報告・医師の意見を記入

4. 記入された用紙をTOに渡す。→TD

5. 試合が翌日の場合は、翌日にTOに用紙を渡し、経過説明。

6. エントリーF提出時に、本人の健康確認をTOまたはTDが行う。

事故と同一日に次の試合がある場合、無診察(素人判断のみ)での試合出場は認められない。

⇒【別紙】に従い安全第一の対応をお願いしたい。

◆その他

○カメラマン(卒業アルバム等作成のためのチーム随行カメラマン)について

・ジャッジ席および両チームのベンチの間を除く、観客席側サイドラインより(防球ネットの外側)から撮影を許可する。なお、ゴール裏はサークルにかからないところまで撮影可。

・・・ケガは自己責任で。アンパイアーの指示には必ず従うこと。

・試合開始のあいさつ時のみベンチ周辺での撮影もOK

○ベンチ内での撮影について

・ベンチに入ることが許される者が、ベンチ内(テント内)で、競技に支障を与えることなく撮影することは許可するが(カメラ・ビデオともOK)、ジャッジ席からの指示には速やかに従うこと。

○相手を讃えるセレモニーを、熟読のこと